派遣されてきた妹艦が レズだった件について

ラシド

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので

超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。 小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を

(あらすじ)

発狂する叢雲

困惑する吹雪

転職する提督

絶対見てくれよな!

1

1

提督「……んで任務どうだった?」

提督「そうか、ご苦労さん今日はゆっくり休みたまえ。」 吹雪「はい今日は私がMVPです!!」

吹雪「分かりましたありがとうございます。」ギィバタン

私は、特型駆逐艦吹雪です。半年前からこの鎮守府に居ます、みんな優しくていい人

なんですよ…1人はのぞいてね…

吹雪型駆逐艦の部屋にて。

吹雪「ただいま。」

撃しやがって処すべきね!」

叢雲「吹雪!!.どこ行ってたの!?.会いたかったわよん ? あの、ゴミ提督吹雪に出

吹雪「叢雲ちゃん落ち着いて私は、無事帰って来たよ(汗)」

叢雲「そうよね、 無事帰って来たんだし後でベッド入る?一緒に子作りしない?」

そう、ここの鎮守府には私の妹の叢雲ちゃんがいるのだから一年前までは普通だった 吹雪「キモイから辞めて」 2 ブ 吹雪 睦月 タ 立 睦月 夕立「ぽい~」 「どうしてこうなっただろうね?」 「また、

あったの!?コイツは正気か!?頭がクレイジーサイコ大井か 叢雲 吹雪 叢雲 吹雪 吹雪「うるせえ黙れ。」ダッ 「叢雲ちゃん私は入渠行くからね。」 「行っちゃダメよ吹雪!!今ここで吹雪の汗汁飲むから!!」ガシ 「気持わりいから、 「んもうブッキーちゃん冷たいんだからだから、 離れろ害虫。」 1. 5でいいからね

?

のに今となってはどうしてこうなったのオオオオオオオオオオオオ

1年間の間

何が

吹雪「はあ、 入渠にて 叢雲さんにヤラれそうになったの?」 なんであーなったんだろう…」

「吹雪ちゃん来る前までは叢雲さん真面目だったぽい。」 「あっ!睦月ちゃんうんまたヤラれそうになったよ本当勘弁して欲しいよ……」

!!: 「吹雪!!オ○ニーじゃ我慢出来なくなったから!!今ここでしましょ!!」 !! !! 叢雲ダイ

入った入渠最高!!)」 吹雪「近づくなよ変態が!!まじできめぇんだよ!!!」!! 叢雲「ブクブクブク(ありがとうございます!! 助りがとうございます!! そして吹雪が 睦月&夕立(うわぁ…)冷たい目

吹雪「はぁ…もう嫌だ…」||||||(____。)|||||| 睦月「大丈夫だよいつかは、元に戻るから………多分にゃし………」

間宮にて

夕立「睦月ちゃんの言うとりだっぽい………多分ぽい………」

吹雪「もう嫌だよこの鎮守府、あんなベタベタくっつく妹なんて嫌だよ、この前なん

か夜戦ヤラれそうになったし……………気持ちよかったけどね。(ボソッ…)」 睦月 (気持ちよかったのかよ……)

夕立 (何感じてんねん…)

睦月「そうだよね、吹雪ちゃん食べよにゃし。」夕立「そ、そんな事より早く食べよぽい。」

吹雪「あ~甘さが染みるわ~。」吹雪「うん、いただきます。」

バアーンドガ

吹雪 叢雲 「お前何処から来たんだよ…消えろや細菌、 「吹雪!!|今のスプーンちょうだいぺろぺろしたいから!!! あと服着ろ!!」

睦月&夕立「((?▽?;;) ア、ハハハハ…」

次 あ É

けど…)

吹雪 提督 「えー…次の海域なんだが吹雪と叢雲と陸奥と加賀、 (ちっなんで叢雲ちゃんと一緒なんだよ、コイツと組むとろくな事しか 瑞鶴、 神 |通だ。|

無い んだ

ハアハアハアハアハアハア。」 叢雲「フブチン今日は一緒に頑張ろうね♪ハアハアハアハアハアハアハアハアハア

吹雪「うん、 海域にて |発見戦闘準備!!.| とりあえずそのあだ名辞めろそして息荒いからキモイ。」

ドオ 加賀 陸奥 h ば オオオ あ 「敵艦隊 「制空権確 あ オ あ オオオ あ あ オオオオオオン!! [保!!] あ ヱ あ あ あ

吹雪「きゃ!!」バアーン

ア

あ あ あ あ あ あ

叢雲「こうなったら酸素魚雷ウオオオオアアアアアアアアアッツッ!」 海の上を走叢雲「こうなったら酸素魚雷ウオオオオアアアアアアアアアッツッ!」 湯の上を走 神通 吹雪「フブチンどこいったしあと、ラブラブじゃねぇし。」 「こうなったら皲素魚雪ヶヶ・「フブチンどこいったしあと、ラブラブじゃねえし。」「フブチンどこいったしあと、ラブラブじゃねえし。」!」「あんにゃろ私のラブラブのブキブキを中破しやがって○すぞてめえ!!」!

る叢雲

神通 陸奥「ちょつ……叢雲ちゃん何列乱れてんの!!」 「叢雲ちゃん戻って来てえええええええ!!」

瑞鶴 「えぇ…何してるの!!」

加賀「(д。) ポカーン」

吹雪 (旗艦陸奥さんなのに何ガン無視してんだよ叢叢…(呆れ))

「うおりやあああああああああああ。《。Д。》ゴラアアアアアアアアアアアアア

!!」ガアーンドガ

叢雲

神通「えぇ…酸素魚雷の使い方物理で敵艦ボコす人初めて見た……」

加賀 「へぇー酸素魚雷あんな使い方するのねこれで五航戦を…」 陸奥「(。 Д.)」

瑞鶴 「それ以上言わなくていい。」

吹雪(もうわけわからん…)

吹雪「ただいま……」

夕立「どうしたの?元気ないぽい?」

夕立

「吹雪ちゃんおつかれぽ

ر. د را 陸奥「いや、なんて言うか叢雲ちゃんと加賀さんが単独で主力艦隊物理的に倒したっ 提督「で…任務終えたと…何故瑞鶴は、 顔が腫れてんだ?」

提督「ええ・・・ (困惑) 何で戦ったんだ……」

叢雲 加賀 「私は魚雷で倒したわ!」(`・ω 「私は五航戦を使ってやりました。」(• キリッ]

寮にて 提督 睦月 ガチャ ああ 「だから、 つ、 吹雪ちゃん 瑞鶴は顔腫れてたのか…とりあえず今日は休んでていいぞ。」 お疲れ様にやし。

吹雪「今日の任務すごかったよ…もう嫌だよ…酸素魚雷を物理で扱う人初めて見たよ

睦月 睦月&夕立 (絶対叢雲さんだなこりゃ~もうこの鎮守府わけわかんねぇ。) 「 は ? 」

6

夕立(睦月突っ込む所そこじゃねぇだろ。)

(こいつ直接脳内に!)

吹雪「2人ともどうしたの急に黙ってて?」

睦月「いや、何でもないよ今日のエロ本の事考えてにゃ。ねぇ夕立ちゃん。」

夕立「そ、そ、そうだっぽい。」

睦月&夕立「ちょ待てよ!ブッキー」ダ吹雪「そうなんだ私は、間宮に行くね。」

吹雪型の部屋にて

提督「吹雪居るか?入るぞ。」ガチャ

の染み付いいたパンツのお味は(クンカクンカ)スウィーティーな味ネ!!お次は脱ぎた よ!! ゚ヒド゚の吹雪汁があるから全部飲み干すわ!! あっ/////////// てのソックス片方は嗅いで&女○器に入れてダブルで得よ☆お次は吹雪が入った入渠 叢雲 「はあああああああああああああああああ あああ ああああああああんブツキー

辞められない!!止まらない!!今日買った電マあるからふぶちゃん帰って来るまで、全裸 最っつり つっり つっつつい つっつつつつつつつつつつつつつつつ 高!! もうダメ!!

で待機!!:」 !!!!

F i n

提督(転職するか。)